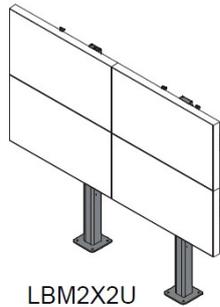
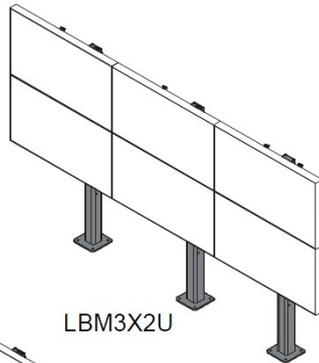
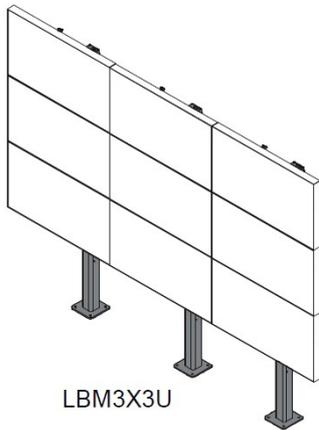
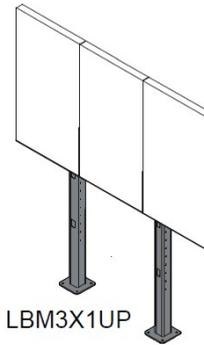
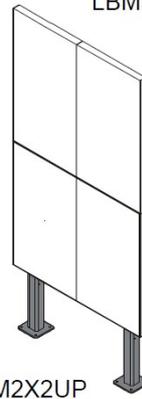
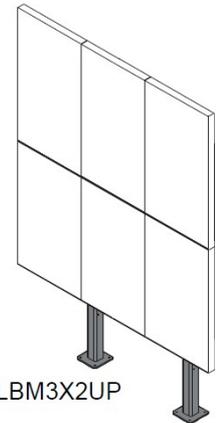
取扱説明書

マルチディスプレイスタンド

LBMシリーズ

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに必ず保管してください。

必ずお守りください。

設置には特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●お客様の安全のため、取付場所の強度には機器本体含むディスプレイおよび金具類の合計重量の少なくとも5倍に耐えるよう十分注意のうえ、設計施工を行ってください。
●作業は必ず2名以上で行ってください。
●取扱説明書で指定しているネジや固定具は全数を確実に取り付けてください。
●壁面の構造や材質によっては補強さんや補強板をいれるなどして適切な施工方法を採用してください。

安全上のご注意

警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡したり重大な事故を負う可能性が想定される内容を示しています

注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容あるいは物的損害の発生の可能性がある内容を示しています

警告：部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

警告：取り付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、金具やディスプレイの落下につながり、非常に危険です。

警告

警告：作業中金具の突起部分（ピンチポイント）に注意してください。指をはさまないようにご注意ください。

警告：ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取付けてください。

注意：構造物に取付ける固定金具類は、原則として付属しておりません。壁の材質や構造に合致した適切な固定金具を別途お求めの上施工してください。

注意：運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

設　置　の　前　に

■設置場所について

- 本製品とディスプレイを設置する構造物は、総合重量に長期間十分に耐え、地震や予想される振動、外力にも十分耐えうる施工を行なってください。
- 設置の前に、ディスプレイと本製品を含めた取り付けユニットの総重量を確認のうえ、設置する構造物の強度を確認してください。強度不足の場合は十分な補強を行なってください。
- 強度が不十分な構造物への取付けは行なわないでください。
- 開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、ケガの原因となります。
- コンクリートの構造物に取り付ける場合は、総重量に十分耐えるコンクリートアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行なった場合、機器が落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分ご注意ください。

■設置方法

1.設置する壁面に対応したアンカー類やネジ等は、十分な強度を持ったものをご用意ください。

2.本取扱説明書の安全上の注意についてよくお読みのうえ、ディスプレイと取付金具の適切な設置場所を決めてください。

3.必要に応じて壁面に適切な下穴処理やアンカー固定を行なってください。

4.設置する構造物の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

5.本製品を構造物にしっかりと取り付けてください。

設 置 の 前 に （続き）

■耐荷重量／その他

⚠警告 本製品で明記している部品やオプション品以外のマルチディスプレイ向け製品を本製品と合わせて使用しないでください。

⚠警告 LBM3X3U、LBM3X2U、LBM2X2Uに、さらに縦方向に追加する別売りのマルチディスプレイ向け製品・部品を組み合わせないでください。また、LBM3X2UP,LBM2X2UP, LBM3X1UPも縦にディスプレイを追加したり、本取扱説明書に無い製品・部品を組み合わせないでください。推奨されるマルチディスプレイ追加用アクセサリーは、下記表をご確認ください。

⚠警告 下記耐荷重量を超えた重量を取付けることはできません。

■最大耐荷重量表

MODEL	ディスプレイ各1台毎 最大耐荷重 単位　ポンド: lbs (kg)	各モデル 最大耐荷重 単位　ポンド: lbs (kg)
LBM2X2U	125 lbs (56.7 kg)	500 lbs (226.8 kg)
LBM3X2U	125 lbs (56.7 kg)	750 lbs (340.2 kg)
LBM3X3U	125 lbs (56.7 kg)	1125 lbs (510.3 kg)
LBM3X1UP	125 lbs (56.7 kg)	375 lbs (170.1 kg)
LBM2X2UP	125 lbs (56.7 kg)	500 lbs (226.8 kg)
LBM3X2UP	125 lbs (56.7 kg)	750 lbs (340.2 kg)

■各モデル耐荷最大重量（kg）

LBM2X2U

56.7	56.7
56.7	56.7

LBM3X2U

56.7	56.7	56.7
56.7	56.7	56.7

LBM3X3U

56.7	56.7	56.7
56.7	56.7	56.7
56.7	56.7	56.7

LBM3X1UP

LBM2X2UP

56.7	56.7
56.7	56.7

LBM3X2UP

56.7	56.7	56.7
56.7	56.7	56.7

■各モデル組合せ可能追加部品

MODEL	各モデル組合せ可能追加部品
LBM2X2U	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：　FCA2X1U
LBM3X2U	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：　FCA3X1U
LBM3X3U	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：
LBM3X1UP	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：　FCA3X1UP
LBM2X2UP	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：
LBM3X2UP	水平方向追加：　FCAX20, FCAX14, FCAX08 垂直方向追加：

■寸法図

LBM2X2U

LBM3X2U

■寸法図 （続き）

LBM3X3U

MAX WEIGHT:
100 LBS PER DISPLAY
900 LBS TOTAL

108.87 [2765.4]
15.75 [400.0] MAX MOUNTING PATTERN HEIGHT
88.27 [2242.1]
82.38 [2092.3] SCREEN CENTER MAX HEIGHT
16.38 [416.1] SCREEN CENTER MIN HEIGHT
3.77 [95.8]
38.48 [977.4]
5.38 [136.5]
1.50 [38.1]
2.53 [64.1]
34.25 [870.0]
92.50 [2349.5]
8.00 [203.2]
3.73 [94.7]
84.62 [2149.2]
83.88 [2130.4]
1.43 [36.2]
17.38 [441.3]
8.00 [203.2]

単位　上段 : インチ
下段 : [mm]

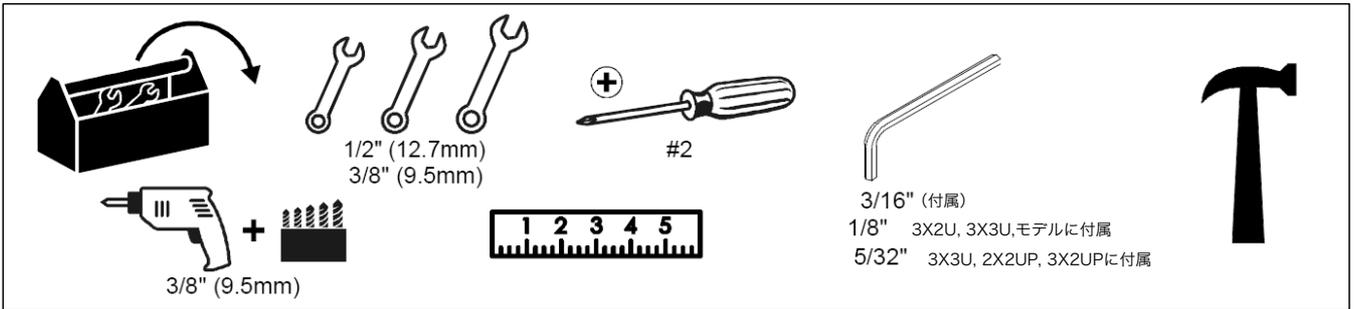
■寸法図 （続き）

LBM2X2UP
MAX WEIGHT:
100 LBS PER DISPLAY
400 LBS TOTAL CAPACITY
46.00
[1168.4]
31.50
[800.0]
MAX DISPLAY
PATTERN HEIGHT
39.77
[1010.2]
82.38
SCREEN CENTER
MAX HEIGHT
17.38
[441.3]
SCREEN CENTER
MIN HEIGHT
1.50
[38.1]
2.53
[64.1]
32.23
[818.6]
3.77
[95.8]
28.00
[711.2]
8.00
[203.2]
44.00
[1117.6]
3.91
[99.3]
7.31
[185.6]
1.61
[40.9]
84.62
[2149.3]
83.88
[2130.4]
17.38
[441.3]
8.00
[203.2]
単位　上段：インチ
下段：[mm]

LBM3X2UP
MAX WEIGHT:
100 LBS PER DISPLAY
600 LBS TOTAL CAPACITY
68.00
[1727.2]
31.50
[800.0]
MAX DISPLAY
PATTERN HEIGHT
39.77
[1010.2]
82.38
[2092.3]
SCREEN CENTER
MAX HEIGHT
17.38
[441.3]
SCREEN CENTER
MIN HEIGHT
1.50
[38.1]
2.53
[64.1]
32.23
[818.6]
3.77
[95.8]
28.00
[711.2]
8.00
[203.2]
44.00
[1117.6]
3.91
[99.3]
7.31
[185.6]
1.61
[40.9]
84.62
[2149.3]
83.88
[2130.4]
17.38
[441.3]
8.00
[203.2]
単位　上段：インチ
下段：[mm]

■床面プレート図面／寸法図

組　立　手　順

■本体の組立に最低限準備いただく工具

■本製品の封入物　（縦設置タイプは次ページをご覧ください）

※品番別に数量が明記されています
(LBM2X2U/LBM3X2U/LBM3X3U)

Hardware Bag　（イニシャル番号はネジが入った袋に明記されています）

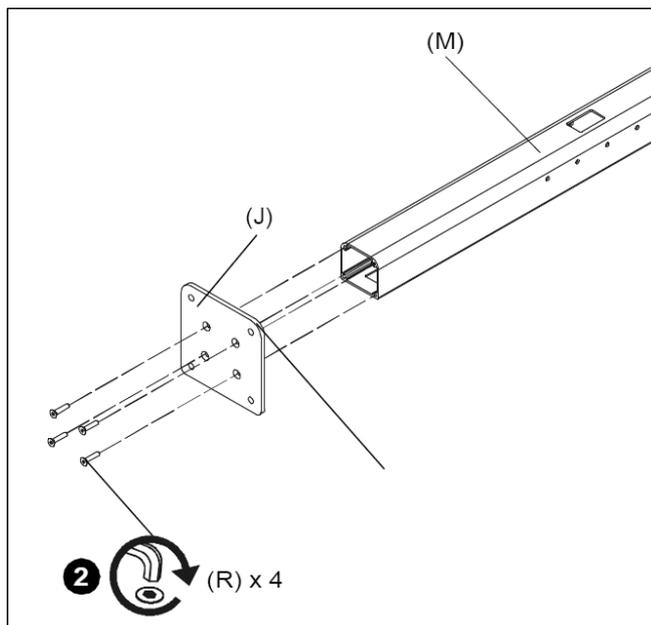
A (16/24/36) M6x12mm
B (16/24/36) M6x16mm
C (16/24/36) M6x30mm
D (16/24/36) 1/4"
E (16/24/36) .750x.344x.5
F (16/24/36) M8x12mm
G (16/24/36) M8x16mm
H (16/24/36) M8x25mm
I (8/12/18) 1/4-20 x 1 1/4"

J (2/3/3) 床面プレート
M (2/3/3) 支柱
K (2/0/0) レール（2画面用）
L (0/2/3) レール（3画面用）
N (2/3/3) 支柱カバー
P (4/6/9) クランプブラケット
R (8/12/12) 5/16-18 x 1 1/2"
T (1/1/1) 3/16" hex bit
U (8/12/12) [3/8 x 3" anchor] アンカー
※コンクリート打設用
適切では無い場合は
使用しないでください。
W (0/0/18) 1/4-20 x 1/2"
Q (4/6/9) クイックコネクトベース
V (0/0/3) 追加支柱
X (0/6/9) #10-24 x 1 1/2"
Y (4/6/9) インターフェースブラケット（左）
Z (4/6/9) インターフェースブラケット（右）
DD (0/2/3) 追加レール
AA (4/6/9) 5/16-18 x 4 1/2"
BB (32/48/72) 5/16-18 x 3/4"
CC (8/12/18) 5/16"
KK (4/6/6) スナップカバー
EE (8/12/12) 5/16-18 x 1/2"
FF (4/6/9) 5/16-18"
GG (1/1/1) 3/16"
HH (0/1/1) 1/8"
JJ (0/0/1) 5/32"

組 立 手 順

■本製品の封入物（縦設置タイプ：LBM3X1UP／LBM2X2UP／LBM3X2UP）

組立と設置

■床面に支柱を設置する

【図-1】

1. 平たい床に　支柱(M)を置きます。

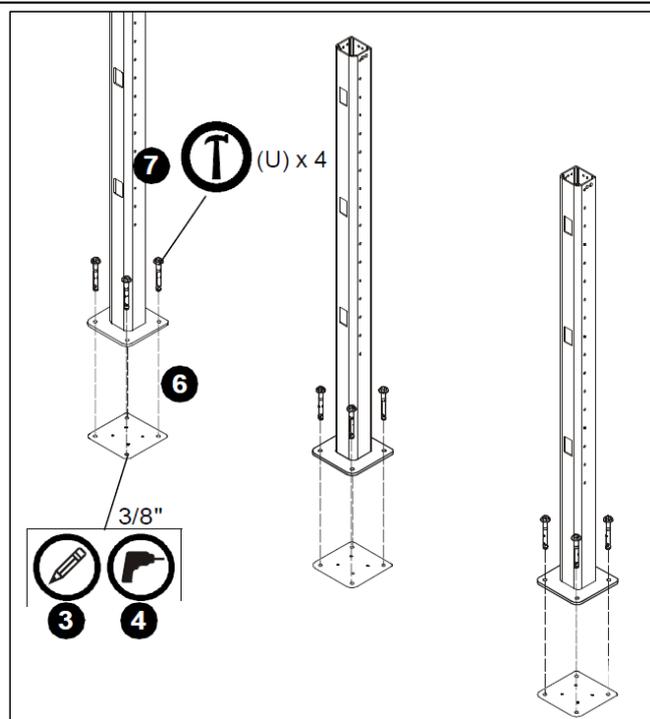
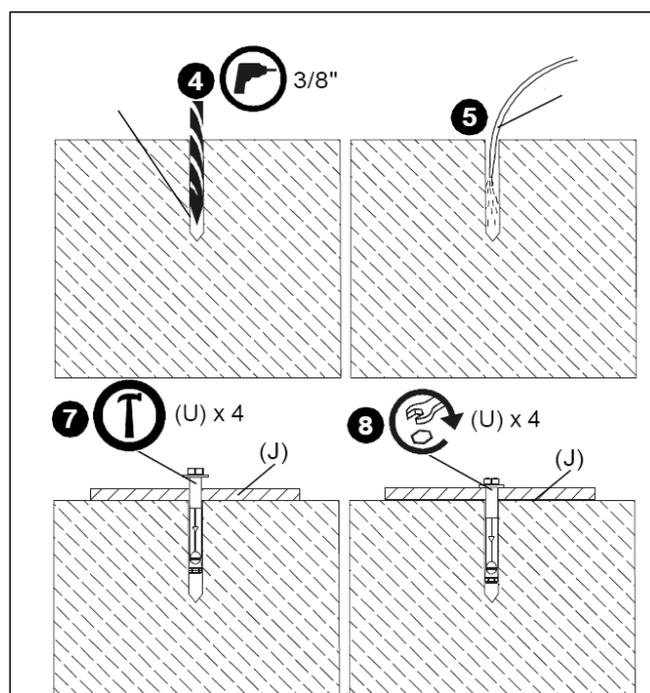
2. 【図-1】のように各支柱(M)を付属床面レート(J)の内側の取付穴を使い、付属ネジ(R)4本で留めます。

重要！：支柱の4つの角の丸み（カーブ）は、正面と背面とで少し異なっています。正面側の2つの角はより丸みが強いです。必ず支柱の正面と背面を正しく取付けてください。詳しくは寸法図のページをご確認ください。

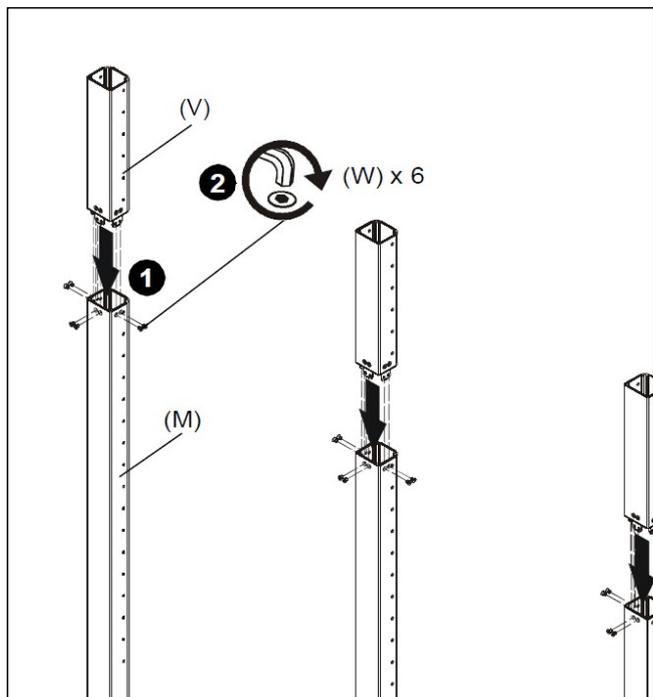
3. 【図-2】のように、床面プレート(J)の外側の穴を用いて取付ける場所を決めてください。

警告：本製品は、コンクリートの床面以外絶対に取付けないでください。また、コンクリートの厚みは必ず 102mm（４インチ）以上が必要です。
コンクリート面の上に別の素材が取付けられている床面にも使用できません。

重要！：7ページの床面プレートの寸法図をご確認下さい。

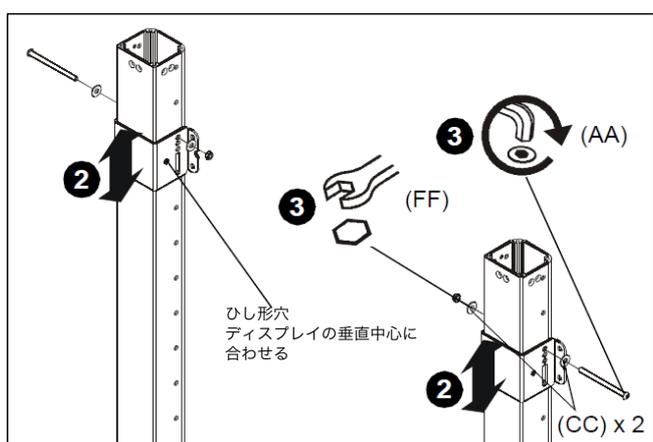
重要！：支柱の配置の際には、ディスプレイを含めた奥行き等、充分余裕を持って設置してください。

【図-2】

【図-3】

4. 【図-2】と【図-3】を参考に、全ての支柱に対しアンカーの打設を行なってください。
添付のアンカーが使用できる場合には、参考として穴径 9.53mm（3/8インチ） / 深さ89mm（3 1/2インチ）になります。

■追加支柱の取付
（LBM3X3U/LBM1X3U/LBM2X2UP /LBM3X2UPのみ）

【図-4】

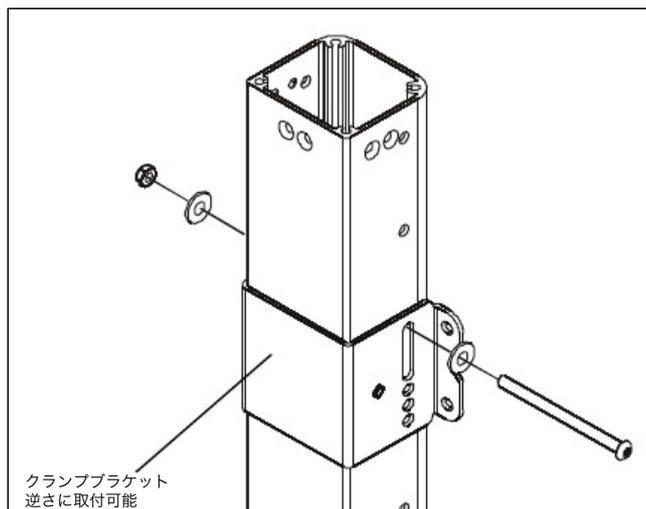
1. 【図-4】のように、追加支柱(V)をそれぞれの支柱(M)に正しい方向で差し込みます。

2. 【図-4】付属六角レンチ（JJ）を使い、一本の支柱に対し付属六角穴ネジ（W）6本でしっかりと固定します。

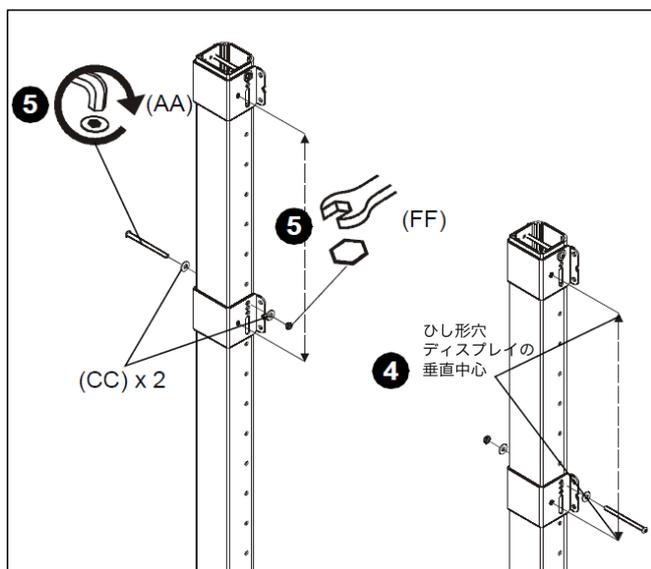
■レールの取付

【図-5】

1. 本取扱説明書の寸法図と、ディスプレイ機器側の寸法図も見ながら、上側のディスプレイの取付位置（垂直中心位置）を決めてください。

2. 【図-5】のようにクランプブラケット(P)を支柱に取付け、ひし形穴の部分が上側ディスプレイの垂直中心線となるように位置を決めます。

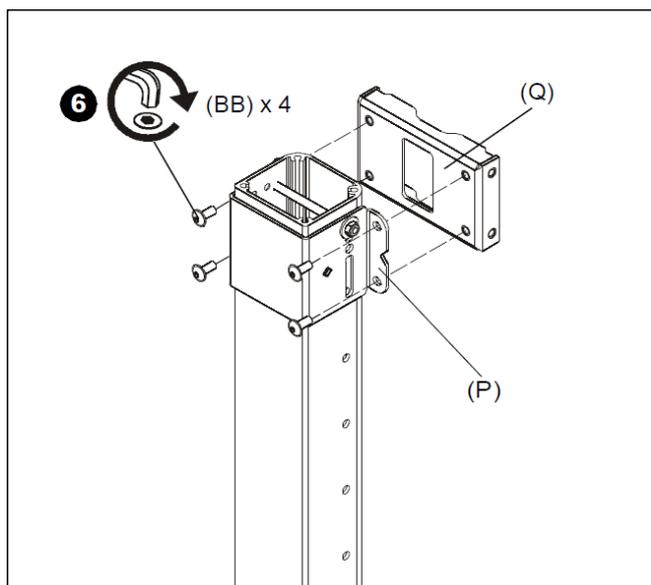
3. 【図-5】のように付属ネジ（AA）、2つの付属ワッシャー（CC）と付属ロックナット(FF)を用い、支柱にクランプブラケット(P)をしっかりと固定します。

【図-6】

メモ：ディスプレイ垂直中心位置によっては、【図-6】のようにクランプブラケット(P)を逆さにして留めることもできます。

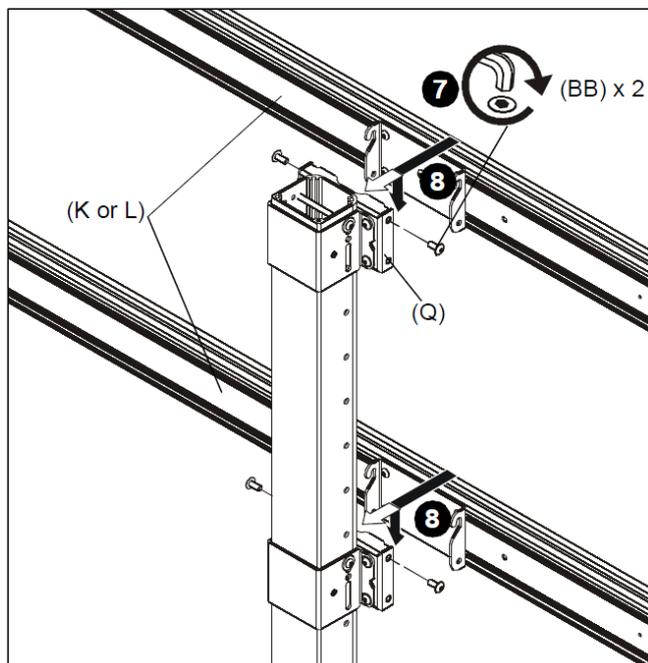
メモ：LBM3X1UPの場合は、次ページ 6. に進んでください。

【図-7】

4.【図-7】のように上側ディスプレイの垂直高さにより下側のディスプレイの垂直中心位置に合わせて下側のクランプブラケット(P)の垂直中心位置を決めます。

5.【図-7】のように付属ネジ（AA）、2つの付属ワッシャー（CC）と付属ロックナット(FF)を用い、下部ディスプレイの中心位置に合わせて支柱にクランプブラケット(P)をしっかりと固定します。クランプブラケットのひし形穴が下側ディスプレイの垂直中心位置になるようにします。

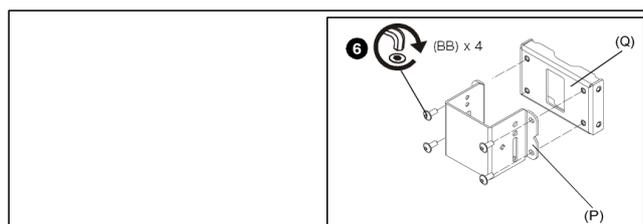
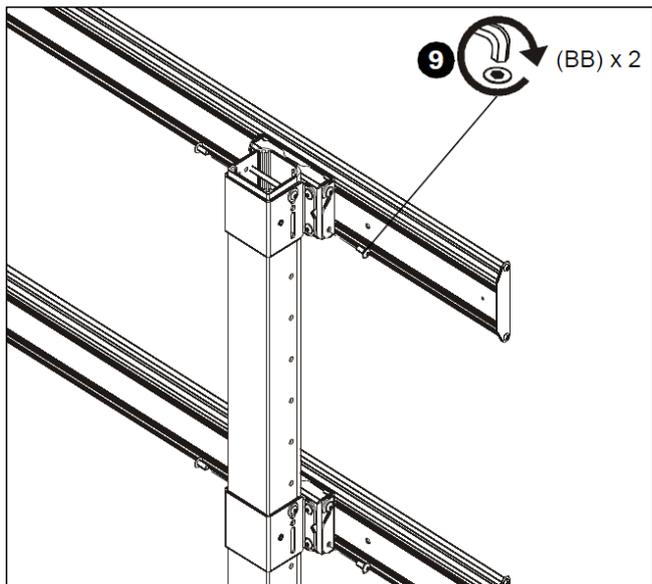
メモ：もし上側ディスプレイと下側ディスプレイをぴったりつけずに間を空けて設置をする場合は、垂直中心の距離に余裕を持たせてください。

【図-8】

6.【図-8】のように付属ネジ(BB)4本を用い、クランプブラケット（P）とクイックコネクトベース（Q）を固定します。

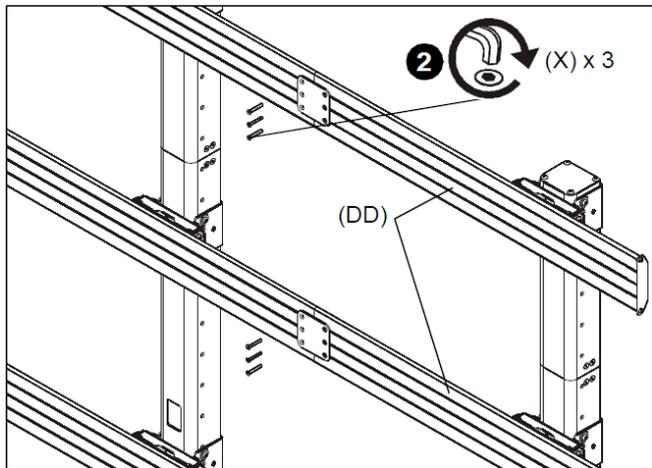
メモ：ディスプレイのケーブル配線に関して、場合によっては、レールをクイックコネクトベースに取付ける前に処理する必要があります。
詳細は、15ページのケーブル配線の欄をご参照ください。

【図-9】

7.【図-9】のようにクイックコネクトベース（Q）に4本の付属ネジ(BB)をさらに固定します。

8．7．で留めたネジ（BB）にレール部(K、もしくはL)を引っ掛けて取付けます。

重要！：　3台のディスプレイを水平に設置する場合は、このステップのレール(L)は中心と向かって左側の支柱に引っ掛けるようにしてください。追加レールを向かって右側の支柱に設置します。
詳しくは次の追加レールの設置欄にてご確認ください。

メモ：クランプブラケットとクイックコネクトベースが取り付けにくい場合は、あらかじめこれらを仮組みして支柱にセットしてください。

【図-10】

9. 【図-10】のように2本の付属ネジ（BB）でレール部とクイックコネクトベース（Q）を留めます。しっかりとめて確実に固定してください。

■オプション：追加レールの取付（LBM3X2U/LBM3X3Uのみ）

【図-11】

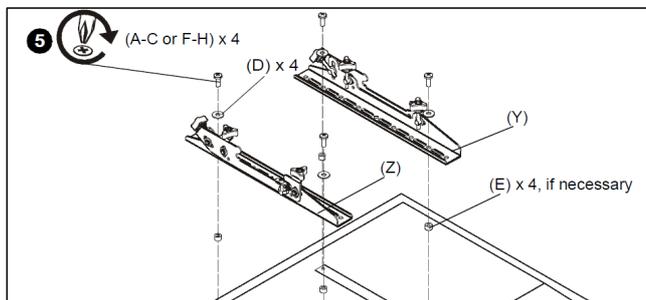
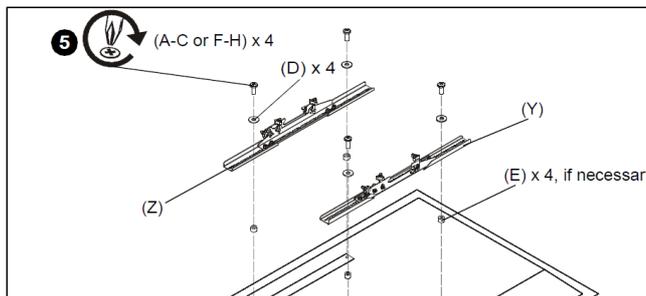
1. 【図-11】のように追加レール(DD)を右側の支柱に取付けてください。方法はレールの取付と同じです。

2. 付属ネジ(X)3本で追加レール（DD）とレール(L)を接続します。

■ディスプレイの設置

1. やわらかい布などを敷いた平らな面にディスプレイの背面取付作業が行なえるように置き、準備します。

メモ：ディスプレイ設置作業の前にケーブルの配線作業を行なうとより効率的です。詳細は15ページのケーブル配線方法をご確認ください。

注意：長さの適切でないネジを使用するとディスプレイの故障の原因となります。適切な長さのネジはスムーズにディスプレイ側の取り付け穴に入るように設計されていますので取付の際は充分ご注意ください。

【図-12】

【図-13】

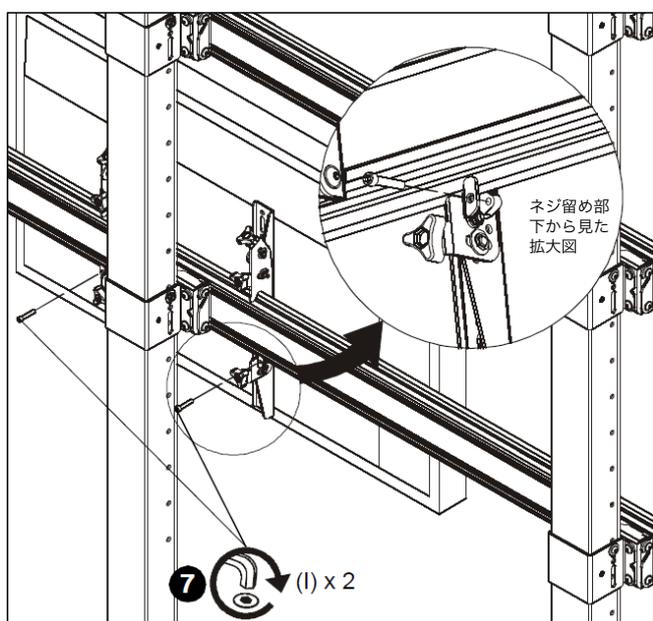
2. 【図-12】または【図-13】のように、付属ネジ（(A)(B)(C)、もしくは(F)(G)(H)）の中から、ディスプレイ側の取付穴の大きさに応じ正しいサイズのタイプを選びます。

3. スペーサーを選びます。

・インターフェースブラケット(Y)(Z）と取付けるディスプレイの間に構造上の凹みや出っ張りがある場合は、スペーサーを間に挟んで調整します。

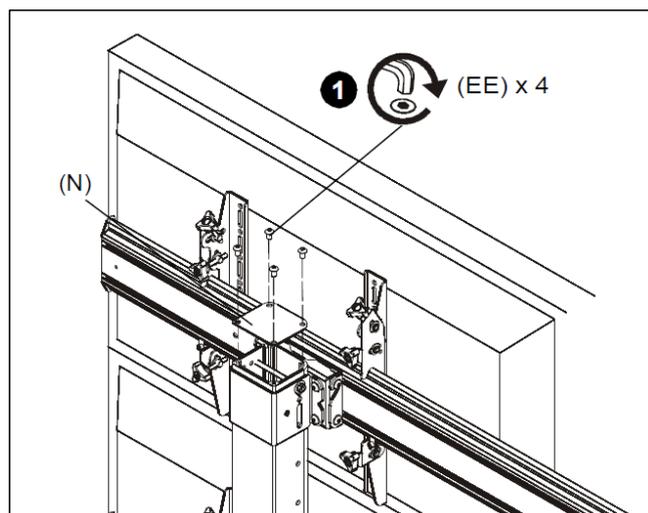
注意：長さの適切でないネジを使用するとディスプレイの故障の原因となります。適切な長さのネジはスムーズにディスプレイ側の取り付け穴に入るように設計されていますので取付の際は充分ご注意ください。

4.　２. で選んだ正しい直径のネジの中から、さらにスペーサーと付属ワッシャー(D)を含め適切な長さのネジを選びます。
・まず一番短い長さのネジで試し、ディスプレイ機器が故障しないように急にネジを深く止めないように気をつけてください。

5. インターフェースブラケットの中心のひし形穴がディスプレイの垂直中心になるようにしっかりと固定してください。

【図-14】

6. 【図-14】のようにインターフェースブラケット(Y)(Z)をレール(K)(L)に引っ掛けます。
下部のディスプレイから取付けてください。

7. 【図-14】のようにインターフェースブラケット(Y)(Z)の下部を、付属ネジ(I)で留めます。
取付穴にしっかり差し込んで留めてください。

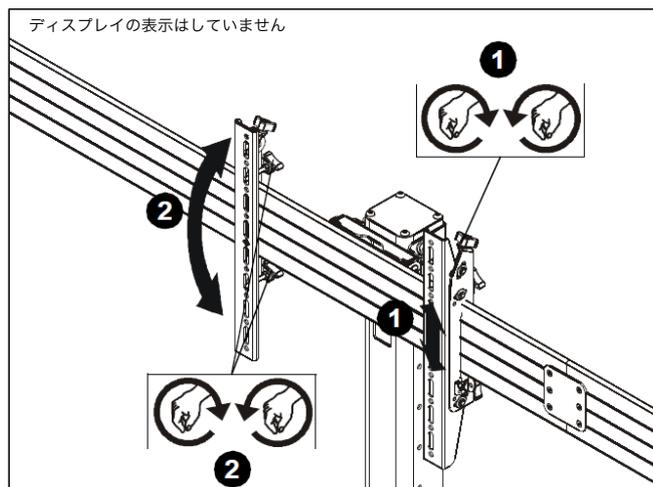
メモ：ディスプレイ側の高さと垂直方向を調整してください。

【図-15】

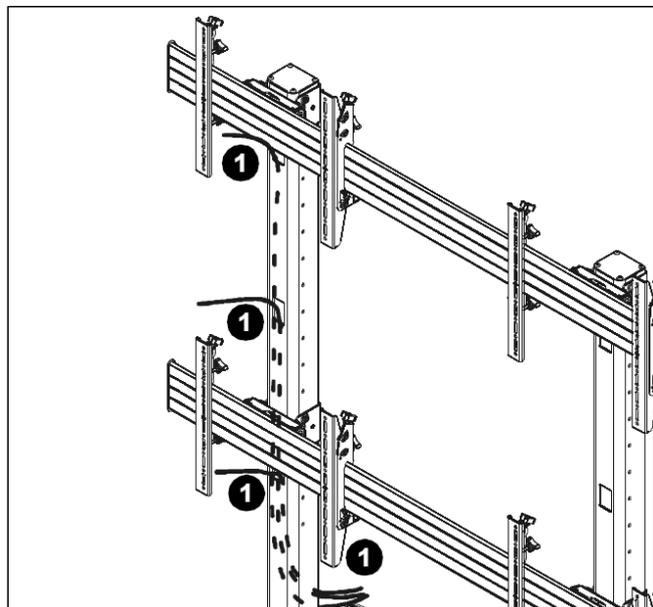
メモ：支柱の中にケーブルを挿入して設置する場合は、支柱カバーは取付けないでください。ケーブル配線の欄もご確認ください。

1. 【図-15】のように支柱カバー（N）を付属ネジ(EE)4本で固定してください。

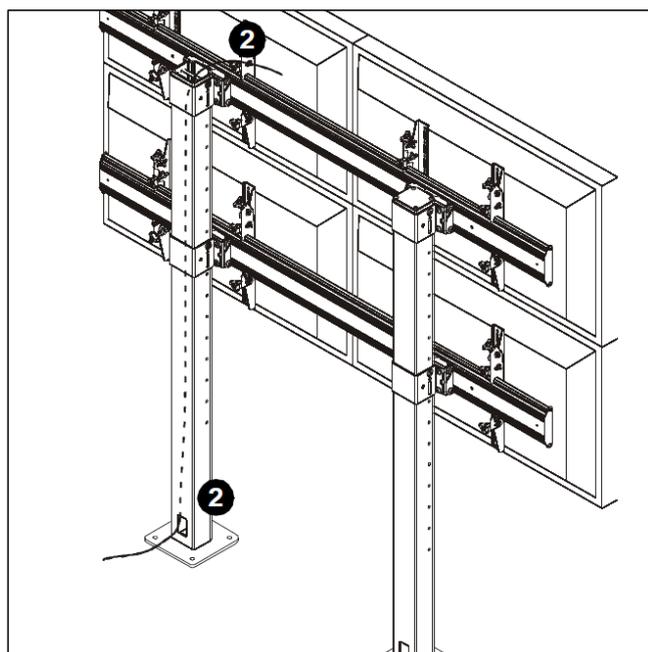
調整とディスプレイ機器ケーブルの配線

■高さ・垂直傾斜調整

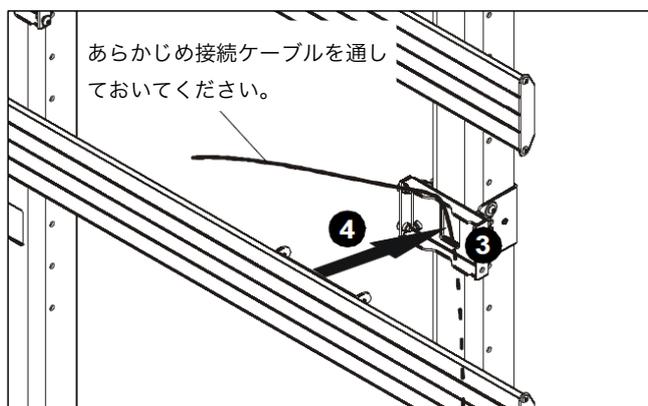
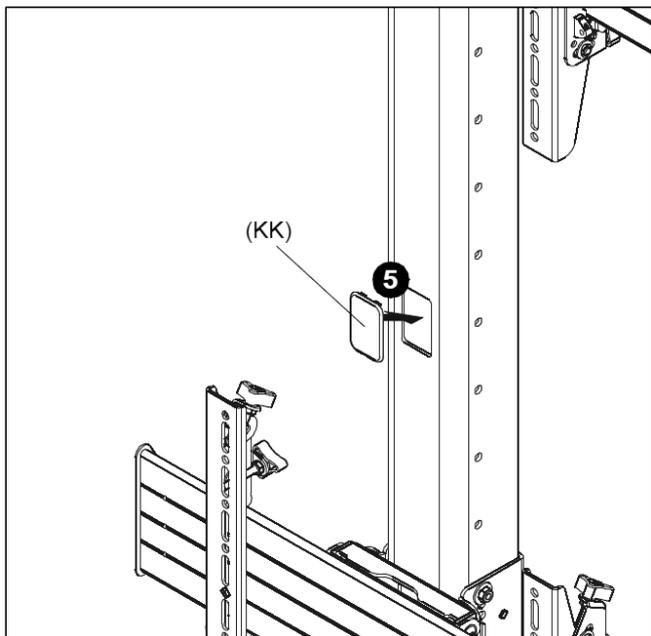
【図-16】

1. 【図-16】のようにフェースブラケット(Y)(Z)の上側のノブを回してディスプレイの高さを調整します。
2. 【図-16】のようにフェースブラケット(Y)(Z)のレールに近い中央と下部のノブを回してディスプレイの垂直傾斜方向を調整します。

■ケーブル配線

【図-17】

1. 【図-17】のようにディスプレイのケーブルを支柱の中に収めてすっきりと配線することができます。
   ディスプレイとの接続時一番近い支柱の穴部分からケーブル接続部を出しておきます。

メモ：ケーブル配線は、ディスプレイ部を取付ける前に行なったほうがより作業がしやすくなります。

【図-18】

2. 【図-18】のように、必要に応じてディスプレイのケーブルを支柱の下部まで配線することもできます。

■オプション：ケーブル配線の処理

【図-19】

【図-20】

5. 【図-20 】支柱のケーブル配線用の穴をケーブル配線に使用していない場合、スナップカバー(KK)を取付けて塞いでおくことができます。

■ システム販売事業部
<首都圏> 〒135-0063 東京都江東区有明 3-7-18 有明セントラルタワー 8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
<関　西> 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

2015.08作成